

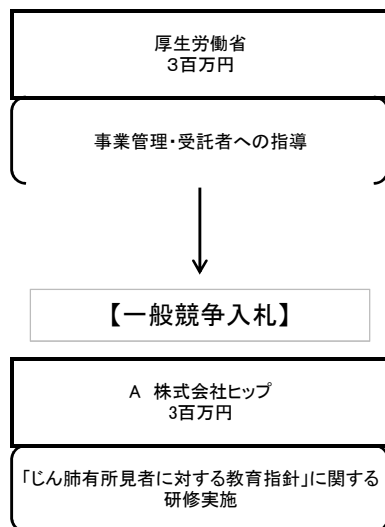
平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	じん肺有所見者に対する普及啓発事業		担当部局庁	労働基準局安全衛生部		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成9年度開始		担当課室	労働衛生課		泉 陽子			
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定		政策・施策名	Ⅲ-2-1 労働者の安全と健康が確保され、労働者が安心して働くことができる職場づくりを推進すること。					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号		関係する計画、通知等	第12次労働災害防止計画					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	不可逆性の疾病であるじん肺について、産業医等に対してじん肺有所見者に対する教育指針の普及啓発により、労働者のじん肺予防対策の推進を目指すもの。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全国7都市において、講習会を開催し、主に粉じん作業を行う事業場の産業医等に対して、「じん肺有所見者に対する教育指針」が各事業場において定着するよう普及啓発を行うとともに、じん肺の基礎知識及び粉じんばく露防止対策について、専門家からの講義を行うことで、じん肺有所見者に対する適切な健康管理と、粉じん障害防止対策の更なる徹底を図る。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算							
		繰越し等							
		計	2	10	3	3	3		
	執行額	0.5	4	3					
執行率 (%)		25	40	77					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	研修後の参加者アンケートにおいて、本研修が有意義であったかどうかを問う設問に対し、「有意義であった。」「概ね有意義である」と回答した者の割合を、全回答者数の80%と以上とする。				%	-	80	91	80
					%	-	100	114	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	参加人数を一会場当たり最低45人以上とする。				人	67	43	42	-
単位当たりコスト	6,952 (円/参加人数)			算出根拠	執行額÷参加人数(全7会場合計) =(2,600,000円)÷(374名)≒6,952円				
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	委託費	3	3	-					
計	3	3							

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性		広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	現在でも毎年250名前後のじん肺有所見者が出ていることから、これらの者に対する健康管理上の留意点を事業場に対して説明することは、国民からの要求でもあり、じん肺対策は国の責務であることから、国費を投入しなければ事業目的は達成できない。		
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	じん肺の健康管理については、国が責任を持ってその精度の運用に当たるべきものである。		
		明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	現在でも毎年250名前後のじん肺有所見者が出ていることから、これらの者に対する健康管理上の留意点を事業場に対する説明は優先度の高いものである。		
事業の効率性		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札(最低価格落札方式)で実施した。		
		受益者との負担関係は妥当であるか。	○	事業場の産業医等に対してじん肺有所見者の健康管理等の徹底を図る事業であり、事業者から徴収した労災保険料から経費を支出していることから、受益者との負担関係は妥当である。		
		単位当たりコストの水準は妥当か。	○	昨年度と比べて、一会場当たりの参加人数は同程度だが、執行額が大幅に減ったため、単位当たりコストは大幅に減った。		
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-		
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	研修実施関連業務以外への支出はない。		
		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	入札効果によるものである。		
事業の有効性		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	研修形態で行う事は、多くの事業場に健康管理上の留意点を普及定着させるにあたって、実効性の高い手段である。		
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	目標には達成しなかったが、概ね見込みのとおりとなった。		
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	研修会テキスト等は労働者の健康管理に活用されている。		
重複排除		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-			
		事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<p>単位当たりのコスト削減には、参加人数の確保が重要であるとする。参加者募集に当たっては、当該教育が必要とされる業種や事業場を絞って参加案内を行う等により、効率的に参加者数を確保することとしたい。</p> <p>また、じん肺管理区分決定件数が平成24年度に4,750件と依然として高水準であり、事業目的を達成するため、引き続き産業医等に対してじん肺有所見者に対する教育指針の普及啓発を行い、じん肺予防対策を推進させる必要があること、成果目標は達成、活動指標は概ね達成していることから、引き続き本事業を実施する。</p>					
外部有識者の所見						
引き続き適正執行に努めること。(長崎、井手)						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	粉じん作業を行う事業場の産業医に対して、じん肺有所見者に対する教育指針を研修するための事業であり、本事業の必要性の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき(必要な予算措置に努めること)。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	650-27	平成23年	0946	平成24年	0801

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

じん肺有所見者に対する教育指針の普及定着



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.株式会社ヒップ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
謝金	講師謝金	0.4			
旅費	講師旅費、スタッフ旅費	0.4			
会場設備費	会場費、備品レンタル代	0.1			
事務費	報告書、テキスト印刷、案内状郵送	1.0			
人件費	スタッフ人件費	0.6			
消費税		0.1			
計		2.6	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ヒップ	「じん肺有所見者に対する教育指針」に関する研修実施	3	5	77%